

## 「宮本賞レター交流 2022」のご案内

第 10 回宮本賞の受賞者とレターで交流するプロジェクトをご案内いたします！

宮本雄二監修・日本日中関係学会編(2022)『若者が考える「日中の未来」vol.8：ポストコロナ時代における中国オンラインツアー産業の現状と展望』日本僑報社を読んだ方が、各論文の執筆者の若者に宛てて、読後感とエールを届けることを企図するイベントです。

レターの内容・字数は自由です。できるだけ、題目、問題提起、分析手法、結論などについて具体的なコメントを含めた感想として WORD で作成し、レター本文 400~800 字でお願いいたします。頂戴したレターは、青年交流部会事務局を通じて、執筆者に電子メールでそのまま届けられます。宛て先は以下 12 編の論文の作者から選択してください。

1) 郭秋欒さん・魏文君さん (南京大学外国語学部日本語学科 3 年) ポストコロナ時代における中国オンラインツアー産業の現状と展望 ~日本からの示唆~
2) 陳傲さん (南京大学外国語学部日本語学科 3 年) ソーシャルメディア時代における日中相互理解増進の試みについての考察 ~竹内亮監督「私がここに住む理由」を例にして~
3) 耿雅凝さん (瀋陽大学外国語学部日本語学科 4 年) 中国の躺平(タンピン)族の社会的分析 ~日本の若者研究と比較して~
4) 曾小蘭さん (東北大学大学院国際文化研究科博士後期課程 3 年) 鄭伯奇青年はなぜ「国民文学」を唱えたのか~世界主義と世界人の視点から~
5) 楊妍さん (東北大学大学院国際文化研究科・GSICS フェロー) 清末女子学生の日本留学体験 ~近代日本における異文化の融合と衝突~
6) 黄嘉欣さん (明治大学大学院経営学研究科博士後期課程 1 年) 中国河北省普陽鉄鋼におけるアメーバ経営の導入の成功要因
7) 袁藹怡さん (中山大学外国語学部日本語学科 4 年) 21 世紀以降の中国における芥川龍之介文学の翻訳出版
8) 楊皓然さん (大連民族大学外国語学部日本語学科 4 年) 若者の SNS 利用に関する実態調査 ~中日両国の大学生を対象に~
9) 胡孟雪さん (上海外国語大学日本文化経済学院国際貿易(日本語)学科 4 年) RCEP 下の中日韓自由貿易地域建設の可能性を考える ~農産物貿易の視点から~

10) 及川純さん（北京大学燕京学堂修士2年） 日本の新聞における「一带一路」報道 ～朝日・日経・産経三紙の対中報道姿勢の分析～
11) 張陽さん（関西大学東アジア文化研究科博士後期課程3年） 『下学邇言』における「神儒折衷」～国学受容と形而上学の欠如～
12) 楊中奕さん（上海外国語大学日本文化経済研究科修士課程1年） 日中比較による競技ダンス界の一考察 ～現状と発展・プロとアマ・オフラインとオンライン～

●応募要領：WORD で作成し、以下についてご明記をお願いいたします。

- ①レターの宛て名（上記12作品を執筆した個人またはチーム）
- ②レター作成者ご自身のお名前、ご所属、連絡先（メールアドレス等）
- ③レター本文（400～800字）

※ファイル名は「×××論文へのレター（差出人氏名）」としてください。

作者がチームの場合、第一著者の氏名に「等」を付けて下さい。

※2編以上の作品へのレターも受け付けます。分けてご投函ください。

●受付先：

日中関係学会 青年交流部会 高久保 豊（部会長）

メールアドレス：takakubo.yutaka@nihon-u.ac.jp

件名：宮本賞レター交流2022（×××論文へのレター）

※受付後1週間以内に発信者にお伝えします。返信がない場合、お問い合わせください。

※受付先を経由して、頂戴したメールをそのまま執筆者にメールで転送いたします。

●締切：2022年5月8日（日）

●応募資格：日中関係学会の会員のほか、非会員（青年はもちろん、壮年・シニアの方や、教員とゼミ生の皆さまなど）も歓迎です。ふるってご応募下さい。

※2022年度の青年交流部会第1回定例会(5月25日(水)18:30～21:00開催)では、遠隔会議システム(Zoom)により、執筆者を囲む形でブレイクアウト・セッションを組み、出会いの場を設けることにしました。別便のご案内をご覧ください。どうぞお楽しみに！

日中関係学会 青年交流部会 事務局